

## 専門試験 - 上級 - 水産

〔No.1〕 近年の我が国の漁業や水産業を巡る話題に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 世界の水産物貿易が増大し、特に中国の水産物輸入量の増加が著しい中にも、我が国の水産物輸入量は2009年において500万トンを超えており、依然として世界第1位を維持している。
  2. 水産物は、いわゆるJAS法により品質に関する表示が義務付けられている。特に養殖魚については、「生産情報公表養殖魚の日本農林規格」が定められ、水揚げの年月日、給餌した飼料、使用した動物用医薬品などの生産情報の表示が養殖業者に義務付けられている。
  3. 大型クラゲの被害対策として、発生海域における幼生の駆除、改良漁具等の導入促進、クラゲカッターや大型クラゲ洋上駆除用水中ポンプ等を用いた駆除に要する経費の助成、大型クラゲ来遊に伴う休漁補償などの措置が講じられている。
  4. 2009年6月に開催された第61回国際捕鯨委員会（IWC）年次会合で、「IWCの将来に関する検討」についての包括的合意がなされた。これを受けて、2010年6月の第62回IWC年次会合で、我が国は沿岸小型捕鯨によるミンククジラの捕獲枠を獲得するに至った。
- ⑤ ウナギ *Anguilla japonica* については、人工的に成熟させた親魚から採卵し、孵化後の仔魚をシラスウナギまで育てる技術が既に確立されていた。さらに近年、その技術で得られたシラスウナギを親魚まで育て、再び採卵し、孵化させて、ライフサイクルを完結させることに成功した。

〔No.2〕 魚類の疾病に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 魚類用のワクチンは、浸漬ワクチン、注射ワクチン、経口ワクチンに大別される。注射ワクチンは接種の労力や費用がかさむため、実用化されていない。
2. 病原体の垂直伝播とは、親世代から子世代へ卵を介して直接病原体が伝播することをいい、海産魚の白点病などの例がある。
3. 魚類は含窒素排泄物のほとんどを尿素として排出するが、この尿素が水中でアンモニアに変換されて蓄積すると、アンモニア中毒症が発生することがある。
- ④. ビタミンは水溶性と脂溶性に分けられる。脂溶性であるビタミンAやビタミンDを魚類が大量摂取した場合、過剰摂取の影響が現れることがある。
5. 細菌性疾病の治療において、最終投薬から出荷までの期間を休薬期間と呼ぶ。休薬期間は、すべての化学療法剤について一律に2週間設けることと定められている。